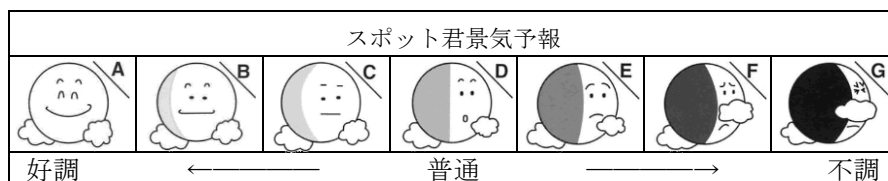


2. 目黒区内中小企業の景況（令和2年10～12月期）

（1）今期の特徴点



製造業

<<今期>>



業況は△35.8で前期比4.3ポイント増とやや厳しさが和らいだ。売上額は△42.0で1.2ポイント減と前期並の厳しさで、収益は△44.0で1.7ポイント減とやや減益幅が拡大し、資金繰りは△25.0で2.4ポイント減とやや窮屈感が強まった。来期の見通しについては、業況は厳しさがやや和らぐ見込み。

卸売業

<<今期>>



業況は△67.3で前期比7.7ポイント増と大きく厳しさが和らいだ。売上額は△64.1で10.4ポイント増と大きく改善し、収益は△52.1で22.2ポイント増と極端に減益幅が縮小し、資金繰りは△36.2で7.1ポイント減と大きく窮屈感が強まった。来期の見通しについては、業況は厳しさが大きく和らぐ見込み。

小売業

<<今期>>



小売業の主要指標をみると、業況は△34.7で前期比9.2ポイント増と大きく厳しさが和らいだ。売上額は△32.4で10.3ポイント増、収益は△33.3で10.3ポイント増とともに大きく減少・減益幅が縮小し、資金繰りは△18.6で7.4ポイント増と大きく窮屈感が緩和した。来期の見通しについては、業況は低調感がやや強まる見込み。

サービス業

<<今期>>



サービス業の主要指標をみると、業況は△60.9で前期比4.9ポイント増とやや厳しさが和らいだ。売上額は△61.9で1.2ポイント減と前期並の減少となり、収益は△56.5で9.2ポイント増と大きく減益幅が縮小し、資金繰りは△34.8で4.1ポイント増とやや窮屈感が緩和した。来期の見通しについては、業況は今期同様の厳しさが続く見込み。

建設業

<<今期>>



業況は△2.3で前期比0.1ポイント増と前期同様変化なしであった。売上額は△16.3で8.7ポイント減と大きく減少を強め、収益は△13.5で2.7ポイント減とやや減益幅が拡大し、資金繰りは△7.5で0.4ポイント減と前期並の苦しさであった。来期の見通しについては、業況は今期同様で変化なく推移する見込み。

各業種別業況の動き（実績）と来期の予測

